

花祭り次第

時間は目安ですの、実際には大幅に変更することがあります。

① ばちの舞 pm2:00

宮人(みょうど)の長老が太鼓のばちを持ち、笛の音に合わせて一人で舞う。



② 式さんぼ pm2:00

ばちの舞で持っていたばちを打ち手に渡し、太鼓と笛に合わせて宮人が扇と鈴を持って舞う



③ ひねのぎ pm2:00

五色の「ひいな」を持って舞う、面形の舞

④ 地固めの舞 pm2:30

扇、八刀(やち=木剣)、剣を持ち舞子二人で舞う。



⑤ 御神楽 pm3:00

宮人(みょうど) 四人が扇と鈴を持って舞う。願主から寄せられる祈願に応じて他の舞の合間にも奉納される。



⑥ 花の舞 pm4:00

子供が愛らしく舞う花笠の舞をはじめ、盆の舞、ぼんでん(御幣)の舞と続く。三人で舞う。



⑦ 市の舞 pm6:00

三つ舞の舞い手が扇と鈴を持ち、一人ずつ舞う。



⑧ 三つ舞 pm7:00

扇の舞、八刀の舞、剣の舞を三人で舞う。



⑨ 山見鬼 pm9:00

かつては釜に足をかけ鉞で割る所差であったが、現在は供鬼(白鬼)との入れ違いに舞が変化している。役鬼、白山を割って生命の再生を図り、生まれ清まりの役割を持つ。やせ鬼(子鬼)もあわせて登場する。



⑩ 摺りこぎの舞 pm10:00

味噌をつけた摺りこぎ、飯粒をつけた杓子、女郎の三人が登場し、観客に味噌や飯を塗りつけてまわる。願主から寄せられる祈願に応じて他の舞の合間にも奉納される。



⑪ 湯囃し pm11:00

軽快なテンポで湯たぶさ(蕨のタワシ)を持って舞い、釜の湯をあたり構わず撒き散らす。この湯を浴びると病にかからないといわれる。



⑫ 四つ舞 am0:00

扇の舞、八刀の舞、剣の舞を四人で舞う。



⑬ おきな am2:00

老人の面の舞。かつては滑稽な問答が伝えられていた。



⑭ 柵鬼 am3:00

反問(へんべ)を踏んで大地に新しい生命力を吹き込み、豊穡をもたらす役鬼。願主から寄せられる祈願に応じて他の舞の合間にも奉納される。



⑮ おかめ am5:00

妊婦の所作で滑稽に舞う。



⑯ 朝鬼 am6:00

役鬼を除く鬼たちが一同になって舞う。かつて夜明け頃に登場することが多かったことから朝鬼と呼ばれる。



⑰ 茂吉鬼 am6:00

鉞を持って舞い、湯釜にぶら下げられた「蜂の巣」を払い落とす。蜂の巣の中の五色紙は縁起物として観客が争って拾う。(朝の役鬼)



⑱ 獅子 am7:00

湯たぶさをくわえて舞庭を舞い清める。



⑲ しずめ am7:00

花祭りでも最も重要な役とされ、天狗面がゆっくりとしたテンポで舞う。これによって神々は心を鎮め、それぞれの御座に帰ってゆく。

